

pro

Proceedings 議事録



- 日時 : 平成28年2月16日（火） 10:00～12:00
場所 : 新潟市役所白山浦庁舎 1号棟 2階 教育会議室1
- 出席者 委員 : 中村 恵子（新潟青陵大学 教授）
福島 實（新潟市子ども会連絡協議会 会長）
近藤 淳一（新潟国際友好会館 館長）
齊藤 裕子（新潟市教育委員会学校支援課 副参事）
長浜 裕子（新潟市教育委員会 教育次長）

丹治 嘉彦（新潟大学教育学部芸術環境講座 教授）
逸見 覚（(株)けんと放送 取締役 放送局長）
池主 透子（TC-Wave 代表）
長井 亮一（新潟市文化スポーツ部 部長）
- 欠席者 委員 : 菊野 麻子（フリーアナウンサー）
- 出席者 事務局 : 佐々木 克己（教育委員会地域教育推進課 課長）
枝並 素子（教育委員会地域教育推進課 課長補佐）
増田 徹（教育委員会地域教育推進課 副主査）
中野 力（文化スポーツ部文化政策課 課長）
鈴木 稔直（文化スポーツ部文化政策課 課長補佐）
黒川 正憲（文化スポーツ部文化政策課 主査）
諸橋 真樹（建築部公共建築第2課 課長補佐）
宮崎 嘉孝（建築部公共建築第2課 係長）
須貝 允英（建築部公共建築第2課 副主査）
阿部 康道（大畑少年センター 所長）
半藤 千枝子（大畑少年センター 事業担当）
- 出席者 策定支援 : 町田 誠（本間総合建築 取締役）
- 全体進行 : 枝並 素子（教育委員会地域教育推進課 課長補佐）
- 傍聴者 : 0名

◆ 議事内容

1. 事務局挨拶

： 佐々木 克己（教育委員会地域教育推進課 課長）

- ・8月からスタートした委員会は今回で5回目の開催となる。

青少年の国際交流、体験活動の提供、また文化芸術の拠点となる新潟市初の複合施設について、その理念や規模、また目指すべきものや作りたいものを検討して、ようやく基本構想という形になることができた。

当初の予定よりは遅れたが、皆様方からじっくりと時間をかけて検討いただいた結果より良いものができたと思う。

今後はこの構想をより具体化した計画へスイッチしていく段階に入っていく。

利用する方のことも想像しながら計画を作っていくことが大事になるだろう。

これまでと同様に熱心に、ご協力いただきたい。

2. 議事 ※進行は中村委員長

(1) 基本構想（案）に対するパブリックコメント実施結果について

《資料》（仮称）国際青少年センター・（仮称）芸術創造ファクトリー基本構想（案）に対する意見募集結果について（案） 資料1-1

（仮称）国際青少年センター・（仮称）芸術創造ファクトリー基本構想（案）に対するパブリックコメント意見概要及び市の考え方（案） 資料1-2

《資料》（仮称）国際青少年センター・（仮称）芸術ファクトリー基本構想（案） 資料2

・資料1-1を説明

： 枝並 素子（教育委員会地域教育推進課 課長補佐）

- ・募集期間1か月の間に2団体から14件の質問が提出された。
- ・今後の公表場所としては下記を予定している。

新潟市ホームページ

市役所（市政情報室、地域教育推進課）

各区役所地域課

各出張所

中央図書館

・資料1-2を説明

【全体】にかかわるご意見を説明。(No.1～No.4)

： 枝並 素子 (教育委員会地域教育推進課 課長補佐)

内容に関しては資料を参照。

→ 基本構想の修正はなしとする。

【(仮称)芸術創造ファクトリー】にかかわるご意見を説明。(No.5～No.13)

： 鈴木 稔直 (文化スポーツ部文化政策課 課長補佐)

内容に関しては資料を参照。

→ 下記、項目のみ1点のみ基本構想を修正する。

・ No.9 P9

意見 :新潟市美術館と至近距離にあり、連動した企画展を少なくとも年1回以上は開催すべき。

市の考え方 :新潟市美術館を含め市内の文化施設等との連携を図り運営する。

修正箇所 :P9の「4 施設の役割」において、市内文化施設等との連携を加えます。

- ・ 内容から芸術創造ファクトリーの期待が大きいことが伺える。(中村委員)
- ・ パブリックコメントを提出された方はどのような方々か。(福島委員)
 - 旧二葉中学校周辺自治会と新潟で芸術文化活動を行っている団体の2団体。(枝並 地域教育推進課長補佐)
- ・ 個人で提出された方はいらっしゃらなかったのか。(中村委員)
 - 個人的な方はいらっしゃらなかった。(枝並 地域教育推進課長補佐)
- ・ それでは、基本構想のP9の赤字部分を修正して完成とします。(中村委員)

(2) 基本構想（案）について

《資料》（仮称）基本計画目次（案） 資料3

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画 整備方針（案） 資料4

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画 施設整備基本計画（案） 資料5

・資料3を説明

： 枝並 素子 （教育委員会地域教育推進課 課長補佐）

・《基本計画目次》（案）を説明

内容に関しては資料を参照。

- ・予算が確定していないため、いただいたご意見が全て叶う訳ではない。構想段階ということでご了承いただきたい。

・資料4を説明

： 町田 誠（本間総合建築 取締役）

・旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画 整備方針（案）を説明

内容に関しては資料を参照。

- ・今後、基本設計に向けてどのような方針で建築の整備を進めていくのかという内容となっている。

・資料5を説明

： 町田 誠（本間総合建築 取締役）

・旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画 施設整備基本計画（案）を説明

内容に関しては資料を参照。

- ・照明のLED化、また、啓発として太陽光発電、風力発電等、自然エネルギーの活用を導入する予定はあるのか。（長井委員）

→ 方針ではエコロジーという文言もあるので、LED化や太陽光発電などの設置については、環境省の助成など、国からの補助を念頭に入れて検討する。

（鈴木 文化政策課長補佐）

- ・屋上の活用はどのようになっているのか。（長井委員）

→ 現在の校舎は屋上まで階段が設置されておらず、ハッチのみとなっている。階段があれば、エレベーターを屋上まで上げて活用することも可能だが、現時点では難しいと考える。（本間総合建築 町田）

- ・使われ方や改修方法の進め方としては良いと思う。考え方としては地域にどのように開かれるかということが重要。

例えば、地域の方と一緒に花壇（朝顔やひまわり）を作る場所があるとか、あるいは作物を育てるなど、内部の人だけではなく他の人も関わりながら変化を及ぼすような余白が必要だろう。それにより地域のもの、自分たちのものという意識が出てくると思う。

また、1階の「誰でもトイレ」は問題はないと思うが、各階のトイレの扉が内側へ開くようになっており、バリアフリーの観点から言えば、内側で人が倒れた場合に救助ができないので、外開きに変更するべきだろう。

工房・ギャラリーとアーカイブギャラリーは、天井にラインダクトを設けてスポット的に照明が配置できるような当て方が、展示スペースの照明としては機能するのではないか。それと同時に天井のレールから作品を吊るような展示方法では、ワイヤーが作品に干渉するので、厚手の壁にビスで留められるような設えが良い。現状復旧も容易と思う。

防犯上、誰かが侵入した時の対応など、セキュリティはどのように考えているのか。

（丹治委員）

- 地元の方達にも自分たちの施設であるということ意識していただくためには、そのようなことは重要であると考え。今後、検討していく。

（枝並 地域教育推進長補佐）

- トイレは和式なのか洋式なのか。洋式に慣れていない子どもたちもいる。

（中村委員）

- ・LANの設備はどこに配置されているのか。インターネットを使って利用される方もいるし、地域の方が立ち寄ることもあるので、1階あたりに配置という話があったかと思う。

お茶は総合芸術であるので、2階の和室に床の間を最低1か所、できれば2か所設けて欲しい。また、朝一斉に洗面を終えるといった場合、数が不足と思う。

また体育館の2階部分は残るのか。（福島委員）

- 体育館の2階部分は改修しない部分であるので図面に記載はありません。

（本間総合建築 町田）

- トイレのドアは、内開きの場合、中で人が倒れた時に救出できないため、改修する必要があると考える。

改修しない部分に関しては、旧二葉中の図面をそのまま写したものであり、現状と相違する可能性がある。例えば、トイレ内のブースの1か所を車椅子対応に改修、また一部の便器が洋式に改修されている等。

和式を見たことがないという児童もおり、全て洋式に変えるのが理想だが、温水洗浄便座の設置の有無も含め、今後予算内で検討を進めた方が良い。

（本間総合建築 町田）

- 子どもたちだけではなく、来賓の方々も利用されるだろう。

照明や床の間に関してはどうか。（中村委員）

→ 照明は計画可能。セキュリティとLANに関しては、まだ方針が決定していないと思う。和室に床の間を設置することに関しては、銘木を入れるかというグレードの検討は必要だが、問題はない。

(本間総合建築 町田)

→ 屋外炊事場のテーブルも宿泊人員の半分しかない。作る人は半分でも食べる時に、2回に分けて食べるというのは使いづらいと思う。洗面の数と併せてどのように考えているのか。(中村委員)

→ 宿泊室内に洗面を設けているが、それでは不足ということか。

(佐々木 地域教育推進長)

→ 8人部屋の宿泊室に1か所だが洗面器を設置している。混雑するのは一時であるので、時間を調整して使用してはどうか。(本間総合建築 町田)

→ 廊下に設置されている水呑場も利用できるのではないか。(中村委員)

→ 給湯を設けるかは今後の検討だが、お湯が出せれば利用可能と思う。

(本間総合建築 町田)

→ 宿泊室内の洗面は見落としとしていたので、数は足りると思う。(福島委員)

→ 屋外炊事場のテーブルについてはどうか。(中村委員)

→ テーブルに関しては移動式か、コンクリートの固定式かなど、仕様も決定しておらず、予算によってはブルーシートを敷いて食べることも想定される。

図面には仮で固定式を記載している。(枝並 地域教育推進長補佐)

・1階のギャラリーに付随する休憩室にトイレは設置されないのか。(長浜委員)

→ 図面には落としていないが設置は可能。(本間総合建築 町田)

・24時間対応エリアであるので、セキュリティという観点からもトイレを設置しておいた方が良くはないか。階段は避難上、区画できないとすれば、休憩室と芸術事務室の間の廊下あたりで区画が必要だろう。(長浜委員)

→ 24時間使用を想定しているの、夜間には青少年センターとは区画できるように考えていく。(中野 文化政策長)

・今までショップに関して議論されてこなかったが、どのようなイメージか。

(長浜委員)

→ 工房やギャラリーで製作されたものや作家の作品販売も検討していきたい。水と土の芸術祭時には、カフェ・食堂に併設されていたが、場所に関しては検討させていただく。(中野文化政策長)

→ お金を扱うので目が届く場所にあるということだと思う。(中村委員)

→ 説明では作家の作品を扱うとのことだが、美術館のように常に同じものを売っているイメージなのか。オリジナル商品売る予定はあるのか。

(池主委員)

→ 国内の類似施設でいえば、コスト的に一般的なギャラリーを借りて販売でき

ない作家さんの作品販売等を検討している。半分が固定、半分が常時入れ替えるイメージではないか。オリジナルというと、ここで製作された作品になると思うが、内容に関しては運営を委託する業者やディレクターとの調整が必要だろう。（鈴木 文化政策課長補佐）

- ・ 避難経路に関して教えて欲しい。旧二葉中の全校生徒が昇降口から降りていたことを考えれば問題はないと思うが、ショップがあることで狭くならないか。通常、3つくらいの避難経路を考える。火が出そうなところ、例えば厨房、工房、浴室など、仮に厨房から火が出たとすると西側の階段しか使用できない。（福島委員）
- ・ 厨房が玄関の脇にあり、出火元になった場合、逃げられないのではないかと。（中村委員）
 - 出入口だけで考えた場合、昇降口その他、工房・ギャラリーに挟まれた西側の搬出入口も廊下幅があり使用できる。（鈴木 文化政策課長補佐）
- ・ 大きな資源である海の活動から上がってくる動線が欲しいという意見が、当初の委員会では出されていたが、それに付随して足を洗える場所が欲しいという意見もあったと思う。（中村委員）
 - 浴室を利用するか、体育館の東側に利用可能な水場がある。また、体育館の男女更衣室も利用できるのではないかと。（枝並 地域教育推進長補佐）
- ・ エントランスホールやカフェ・食堂の壁を全て無くす必要はないと思うが、事務室は来館者が気軽に話しかけたり、相談できたりできるような開口を設けてエントランスホールや廊下との関係を考えて欲しい。また、大畑少年センターの廊下に掲示板があって来場者に情報提供を行っている。サイン計画と関係すると思うが、来場者や宿泊者へ向けた情報提供の場を設けてはどうか。（近藤委員）
 - 来館者等の気配を感じることができる事務室は賛同できる。情報提供については、その日の1日の予定を既存の黒板に事務の方が手書きで記載するとか、現在進行形で自分たちが作っているという生きたサイン計画を検討して欲しい。（丹治委員）
 - 事務室については、見えることによるセキュリティもあり、顔のわかる関係づくりから透明感のある配慮が必要だろう。黒板の使い方も地元の方が学校の名残として判ることは良いと思うが、場所に関しては検討が必要と思う。（佐々木 地域教育推進長）

- ・ 冷暖房を設置するなかで、コミュニティスペースや水土アーカイブ、多目的スペースなど、オープンスペースのランニングコストが気になる。（長浜委員）
 - 例えば事務室をオープンにした場合、断熱の悪い昇降口と一体になる。冷暖房をしっかりと効かせる場合には、空調設備も大きな容量の機器を入れることになり、ランニングコストは上がる傾向になる。
解決方法としては、可動式の建具を設置する等もあるが、イニシャルコストがかかることから、壁を可能な限り残すことも併せて検討が必要。
（本間総合建築 町田）
 - 事務室ですが、オープンスペースというよりは腰から上の部分をガラス張りにしてはどうか。学校に勤めた経験からコンクリートの壁をガラスに変えるだけで、相当雰囲気が変わることを実感している。（福島委員）

- ・ ハードとしては良いと思う。このハードをどのようにソフトに活かしていくのか。
（逸見委員）
 - 色々な用途に使える施設であれば、ありきたりの使い方ではなく、ソフトも工夫のしようがあると思う。（中村委員）
 - 資料4の整備方針にある、芸術活動や教育プログラムの一貫とした什器製作、壁面塗装等は、地域住民の方や学生と一緒に行うとで、自分たちが一緒に作ったという施設になるのではないか。（池主委員）
 - 丹治委員のおしゃった、畑とか花壇を地域住民と作り親近感を得るということにも通じる。（中村委員）
 - 丹治先生が教えていらしゃる斬新な大学生に来ていただいているかどうか。
（福島委員）
 - 前向きに検討します。（丹治委員）

- ・ イメージが具体的になってきて、これからはなおさら工夫しながら良いものができていくと思う。今後は、PRが大事だろう。（齊藤委員）

3. 連絡

第6回委員会の日程については3月下旬を検討している。

以上